

池原 昭治

さやまの春会本

第 119 話



雑木の山桜のこと

春分の日も過ぎますと狭山市内の雑木林の中にも春が
一気にやってきます。

三富の地割景観の内にも入っています堀兼辺りの平地林はナラ、コナラの新芽も吹き出しセピア色の中に、白っぽくやわらかい緑が見られ、なんとなく明るい雰囲気が出ています。そして野鳥のさえずりも一段と賑やかに
なってきました。タチツボスミレも目立つようにな

り、林の中のすべての動植物が生きて生きとつごめき立つと、私たちも自然と心がうきうきしてきます。

この林の中でひとときわ素晴らしいのは、山桜が咲くころの景観です。年頃もたち長く居座っているものと見え、幹も太くどしりとしています。それでも花びらは、白っぽく可憐です。一陣の風でも吹きますと、落花の舞となり、思わず立ち止まり、ただじっと眺めずにはいられません。

何千本もの桜が立ち並び

公園の桜とはまた違ったもので、武蔵野の雑木林の中にひっそりと咲く山桜も捨てがたい春の風物詩の一つです。

スケッチブック、カメラなど、お好みの道具を持って、木枝を拾い地面に立て、倒れた方向へ進みましょう。

春は、草木の萌え出るときです。雑木林の中でのウォーキングには、今が最もいい季節なのです。



狭山が発祥の地

童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載します。

囀りに 負けぬ黄色の

帽子行く

津田 都

百千鳥

五の段やさし

九九復習つ

松井 史子

春の風

紙飛行機の

はなれ枝

田村 明義

さそわれて

琴のリズムに

散る桜

大谷 浩子

手をつなぎ

おぼろ月夜の

塾帰り

高橋 千恵子

花吹雪

待っていました

一年生

岩間 子朗

見せたくて

犬ふぐり咲く

見てあげる

創始者 土家由岐雄

何かな？ 今月の写真クイズ

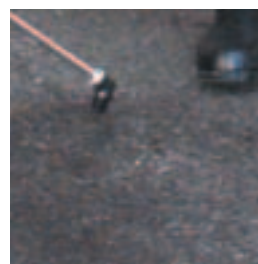
写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？

正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。

締切り4月30日(当日消印有効)

3月10日号の答え

6ページ・躍の「微生物を培養させる装置」の写真でした。



表紙の写真

4月2日(土)柏原公民館で行われた柏原春祭りに、子どもから大人まで1500人が参加しました。会場では、公民館の講座で練習したよさこいソーランをはじめ、柏原中学校のプラスバンド演奏やマジックなどさまざまな地域の団体が、手作りの祭りを盛り上げ、地域の元気があふれた1日になりました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード
QRコードに対応した携帯電話で読み取ると
公式モバイルサイトに簡単にアクセスできます